

受付番号

26

許可番号

大歯医倫 第 110993 号

研究課題名

アクティブラーニングを取り入れた医療保健学部クラウンブリッジ学の学生による評価

研究責任者

楠本 哲次

申請者

楠本 哲次

研究終了日

2019 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部 口腔工学科

所属

医療保健学部 口腔工学科

職名

教授

職名

教授

申請の概要

クラウンブリッジ学の講義は、従来、歯科技工士と歯科衛生士とで求められる知識や技能が異なるため、一緒の講義室で受講することは歯科医学教育のなかではほとんどない。今後、歯科技工士と歯科衛生士は歯科医師と相互に補完しながら連携する歯科領域の枠組みから、多職種連携や訪問・在宅医療など多岐に亘る場面へと拡大することから、他の職種の人々と共に起こり得る問題に対して、情報や意見の交換、協力体制が必要で、コミュニケーションを取りながら力を合わせて解決することが求められる。

今回、本学・医療保健学部の第2学年 50 名を対象に、歯科技工士と歯科衛生士とを目指す学生を混在させたグループを軸に、各グループに課題を与え、情報を収集し、協力して考え、ともに問題を解決していくアクティブラーニングを取り入れることにした。

それにより、クラウンブリッジ治療ないしは歯科治療全般においてもチーム医療の意識付けの礎となり、お互いの目指す職種の役割を認識できる。また、臨床実習前後においては歯科医療専門職を目指す大きなモチベーションとなり、卒業

---

後においては、歯科関係者同志だけでなく、他の職種についても意識の改革や向上につながると期待される。

以上のことを達成するために、アンケート調査を実施し、アクティブラーニングの問題点や改善点を検討する。